

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／演習 B22 (Seminars B22)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	気候変動の詩学——『沈んだ世界』		
担当者名 (Instructor)	中村 麻美(NAKAMURA ASAMI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	EAL3813	言語 (Language)	その他 (Others)
備考 (Notes)	申込カード記入用科目コード:AM121		

授業の目標(Course Objectives)

SF 小説の読解を通じて、カリキュラム・マップに示された「細部を分析し、さらにそれを総合する思考力」を磨いていく。具体的には、現在とは異なる社会を想像することとは如何なることか、またその限界・問題点について議論することで、社会批判としての文学の可能性を探る。歴史的背景や哲学的問題などの深い議論を通じた、多角的なテキスト解釈を試みながら、本格的な英文学研究を実践していく。

Through reading a science fiction novel, this course will help the students improve the skills of close reading and critical thinking as outlined in the curriculum map. Specifically, it explores the potential of literature as a tool of social criticism by discussing what it means to imagine a society which is different from our own and also by revealing its limitations and problems. Through interpreting the novel from various perspectives and examining philosophical and historical issues, the students will learn advanced reading skills which are essential for literary criticism.

授業の内容(Course Contents)

気候変動といえば教条的なトーンで語られることが多いトピックであるが、サイエンス・フィクションは物語を通して、気候変動にまつわる多様な情動を探求することを可能にする。Climate fiction の古典である J. G. バラードの『沈んだ世界』は自然を、搾取され商品化される対象としてではなく、文明を凌駕するある種のエージェンシーをもつ存在として提示する。何層にも重なるディープタイムに絡み合う人間、そして人間以上の存在の物語を精読しながら、独立した個人という主体観を乗り越え、よりポストヒューマン、あるいは物質性に根差した主体性を概念化していくことを目指す。

Discussions of climate change tend to adopt a didactic tone, but science fiction as a form of storytelling enables the reader to explore a broad spectrum of affects and moods associated with climate change. J. G. Ballard's *The Drowned World* (1962), a classic work of climate fiction, depicts nature not so much as an object of extraction and commodification as one that possesses agency and engulfs civilisation. By analysing stories of humans and more-than-humans entangled in deep, multi-layered time, students are encouraged to conceptualise a posthuman/materialist subjectivity that transcends the autonomous and self-contained individual.

授業計画(Course Schedule)

1. 授業内容の説明、グループ分け
2. 作品講読(1)
3. 作品講読(2)
4. 作品講読(3)
5. 作品講読(4)
6. 作品講読(5)
7. ポストヒューマン論(1)
8. 作品講読(6)
9. 作品講読(7)
10. 作品講読(8)
11. 作品講読(9)
12. 作品講読(10)
13. ポストヒューマン論(2)
14. まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

授業の前にテキストの該当部分を読み、分からない箇所(語彙・構文・話の流れなど)、ならびに重要と思ったポイントを記録しておくこと。発表とは別に、ペアやグループでの議論も適宜想定しているので、一人ひとりの念入りな準備が必要とされる。発表グループは、該当部分の要約、重要な文章や難しい部分の提示・解釈、鍵となっているテーマについての議論などをハンドアウトにまとめ、クラス全体に議論を促す。各授業の最後にリアクションペーパーを提出する。最終レポートは授業で学んだことをベースにしつつ、テキストを独自の視点から論じることが課題となる。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

発表における準備状況(30%) / 議論への参加・リアクションペーパー(30%) / 最終レポート(Final Report)(40%)

欠席が3回を超えた時点で、単位修得は不可となる。遅刻、また授業態度の悪さが目立つ場合も大きな減点となるので注意してほしい。

テキスト(Textbooks)

1. J. G. Ballard. 2013. *The Drowned World: A Novel*. W. W. Norton & Company (ISBN:978-0871403629)

2. J.G.バラード、1968、『沈んだ世界』、東京創元社 (ISBN:978-4488629014)

参考文献 (Readings)

その他(HP等) (Others(e.g.HP))

注意事項 (Notice)